

2019 年上半期の長期漁海況予報について

— 資源部 —

今回は、平成 30 年 12 月 19 日～20 日に水産総合研究センター中央水産研究所（横浜市）で開催されました太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報会議の結果を踏まえ、2019 年上半期の日向灘における漁海況予報結果について報告します。

海況

○黒潮

●経過（2018 年 7 月～12 月）

都井岬沖の黒潮流軸（海上保安庁海洋情報部）は、11 月中旬の「離岸傾向」を除き、期間を通して（7～12 月）、「接岸傾向」で推移しました。

●予測（2019 年 1 月～6 月）

都井岬沖の黒潮流軸は、1～2 月まで「接岸傾向」、3 月以降は「離岸傾向」で推移する見込みです。

○沿岸水温

●経過（2018 年 7 月～12 月）

沿岸海洋観測による日向灘の水温（0m, 50m, 100m 層より判断）は、平年値（1972～2012 年度平均）と比べて、7 月に「かなり高め」、8 月に「やや高め」、9 月に「著しく低め」、10 月に「やや低め」、11～12 月に「かなり低め」で推移しました。

●予測（2019 年 1 月～6 月）

日向灘の水温は、1～5 月まで「平年並み」～「高め傾向」、6 月に「低め傾向」～「平年並み」で推移する見込みです。

漁況

○マイワシ

●経過（2018 年 7 月～12 月）

まき網による漁獲は、ウルメイワシ等に混獲される程度で、期を通じて非常に低調となりました（図 1、2）。漁獲サイズは、7 月～9 月に 14cm モードの当歳魚が主体となっていました。

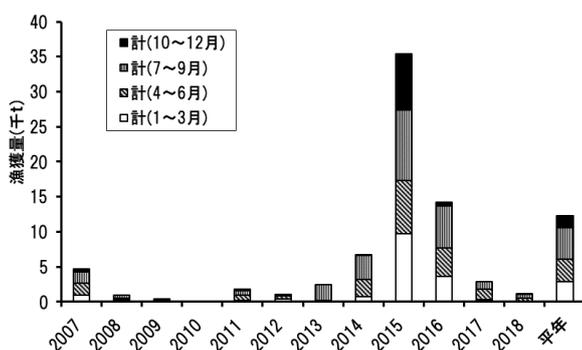


図 1 主要まき網のマイワシ漁獲量経年変化

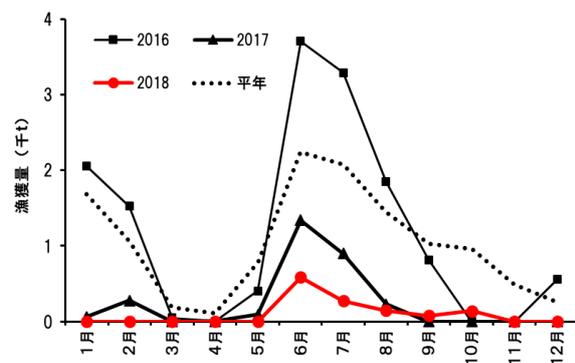


図 2 主要まき網のマイワシ漁獲量経月変化

●予測 (2019年1月～6月)

漁獲対象は、1～5月は推定1歳魚以上、6月は0歳魚が主体となる見込みです。
漁獲量(来遊水準)は前年(585トン: 平年比10%)並と予測されます。

<ウルメイワシ>

●経過 (2018年7月～12月)

まき網による漁獲は、7月以降漁獲が続き、前年をやや上回る漁獲量となりました(図3、4)。
漁獲サイズは、7月には13.5cmと19cm、8月～9月には13.5cm、11月には19cmモードが漁獲の主体となりました。

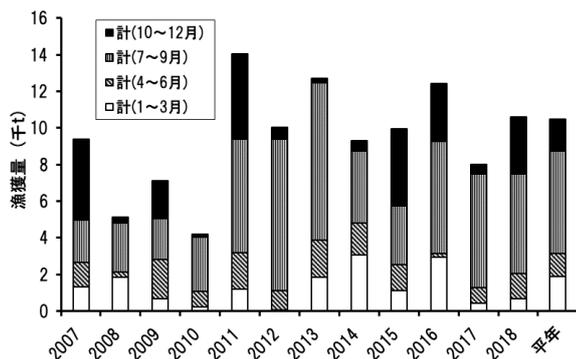


図3 主要まき網のウルメ漁獲量経年変化

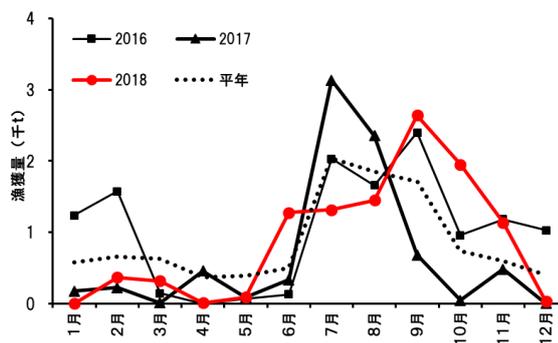


図4 主要まき網のウルメ漁獲量経月変化

●予測 (2019年1月～6月)

漁獲対象は1～4月に18～20cmの推定1歳魚以上、6月以降は0歳魚が主体となる見込みです。
漁獲量(来遊水準)は前年(2,064トン: 平年比66%)並と予測されます。

<カタクチイワシ>

●経過 (2018年7月～12月)

まき網による漁獲は、ウルメイワシ等に混獲されたが、期を通じて非常に低調でした。(図5、6)。
漁獲サイズは、7月には12cm、8月～9月には11cmモード主体でした。

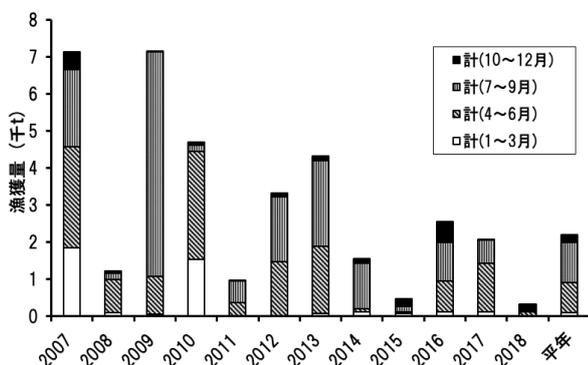


図5 主要まき網のカタクチ漁獲量経年変化

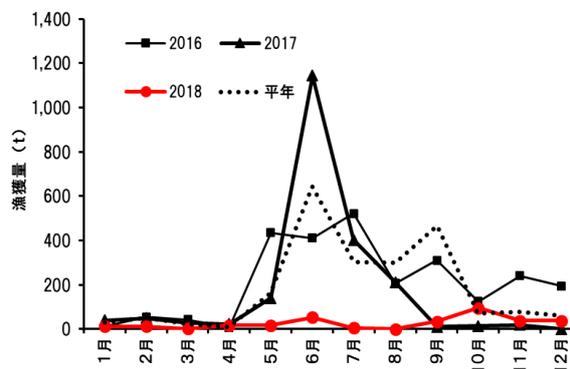


図6 主要まき網のカタクチ漁獲量経月変化

●予測 (2019年1月～6月)

漁獲対象は、被鱗体長12cm未満が主体となる見込みです。
漁獲量(来遊水準)は前年(245トン: 平年比27%)を上回ると予測されます。

<マアジ>

●経過 (2018年7月～12月)

まき網による漁獲は10月にまとまった漁獲があったものの、期を通じて低調でした(図7、8)。漁獲サイズは9月には14～15cm、10月には14cmモードが漁獲の主体となりました。

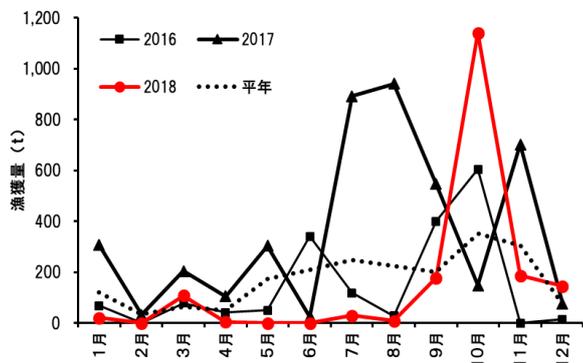


図7 主要まき網のマアジ漁獲量経年変化

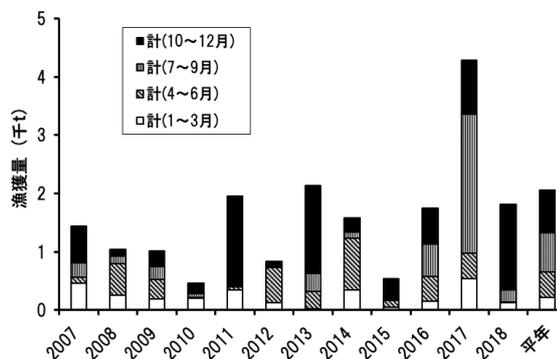


図8 主要まき網のマアジ漁獲量経月変化

●予測 (2019年1月～6月)

漁獲対象は1歳魚主体の漁獲となる見込みです。

漁獲量(来遊水準)は、前年(132トン: 平年比 20%)を上回ると予測されます。

<サバ類>

●経過 (2018年7月～12月)

まき網による漁獲は、7月～10月まで漁獲が継続し、前年を大きく上回りました。(図9、10)。

ゴマサバの漁獲サイズは、7月には21cm、8月に19cm、9月～10月には20～24cm、11月には25cmモードとなりました。

マサバの漁獲サイズは、8月には18cm、9月には19cm、10月には21cm、11月には23cmモードとなりました。

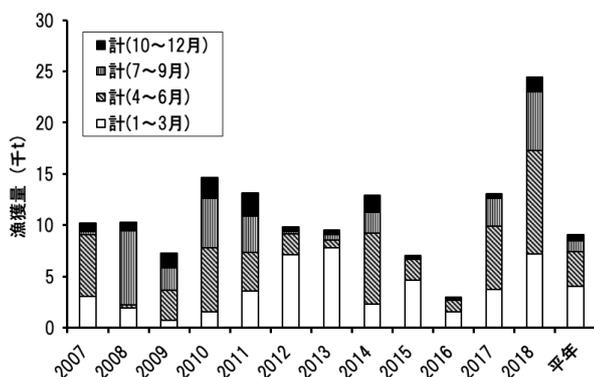


図9 主要まき網のサバ類漁獲量経年変化

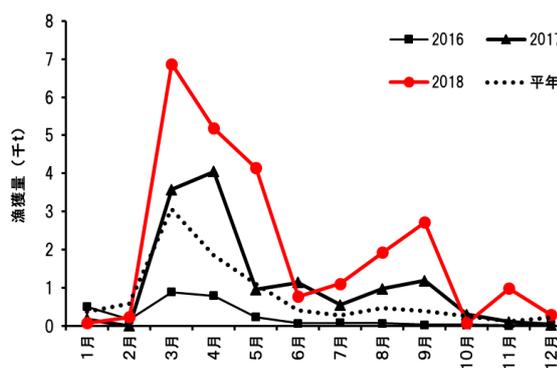


図10 主要まき網のサバ類漁獲量経月変化

●予測 (2019年1月～6月)

漁獲の対象は、ゴマサバは2歳魚(29～33cm)以上、マサバは3歳(30～35cm)以上が主体となる見込みです。

漁獲量(来遊水準)は前年(17,292トン: 平年比 234%)並から下回ると予測されます。